

受付番号

65

許可番号

大歯医倫 第 111027 号

研究課題名

口腔内感覚が咀嚼嚥下の誘発におよぼす影響

研究責任者

小野 圭昭

申請者

田中 佑人

研究終了日

2022 年 3 月 31 日

所属

障がい者歯科

所属

障がい者歯科

職名

科長

職名

講師

申請の概要

通常の食事時の嚥下はプロセスモデルで表現される咀嚼嚥下である。嚥下運動は摂食から食塊が咽頭に至るまでは随意的に行われ、咽頭以後は反射運動で完結する。誤嚥などの嚥下障害は、この随意運動から反射運動への移行がスムーズに行われないうきに発生する。そこで、我々は反射運動のトリガーを明らかにできれば、嚥下機能が低下、消失した人の嚥下運動のリハビリに役立てられると考えた。従来の研究により、嚥下運動の誘発に咽頭からの感覚入力を必ずしも必要とせず舌骨挙上開始時にはすでに口腔期が開始されているとのことから、嚥下反射の誘発は、咀嚼中の口腔感覚により起こるのではと仮説を立てた。本実験では、この仮説を検証するため、個性正常咬合を有する成人男女 16 名を対象として、口腔感覚を麻痺させ、咀嚼嚥下時の嚥下動態を計測し、麻酔前後の咀嚼嚥下運動及び呼吸動態を解析することにより咀嚼嚥下に及ぼす口腔感覚の詳細を明らかにする。